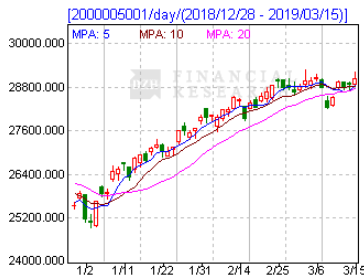


中国株ウィークリーレポート

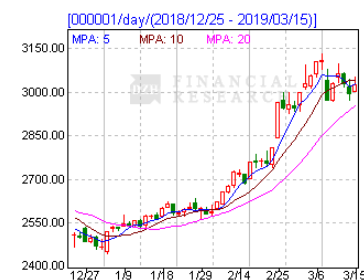
2019/3/18

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	25,848.87	138.93	0.54	1.57	10.81	23,327.46
NASDAQ	7,688.53	57.62	0.76	3.78	15.87	6,635.28
日経225	21,450.85	163.83	0.77	2.02	7.18	20,014.77
上海総合	3,021.75	31.07	1.04	1.75	21.17	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,745.01	46.52	1.26	2.39	24.39	3,010.65
ハンセン	29,012.26	160.87	0.56	2.78	12.25	25,845.70
中国企業	11,508.17	60.90	0.53	3.15	13.66	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.8%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は1.7%高

香港市場ではハンセン指数が週間で2.8%高と3週ぶりに反発した。週前半は米中通商協議の進展期待を背景に堅調に推移。13日には翌日の中国の経済指標の発表を前に3日ぶりに反落したが、その後は再び買い優勢の展開。米中合意の早期妥結期待は後退したものの、中国の景気対策期待などを背景に15日には節目の29000ポイント台を回復した。本土市場では上海総合指数が週間で1.7%高と反発。弱い経済統計の発表を受けて14日には終値で3000ポイントを割り込んだが、週末には再び3000ポイント台を回復した。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開に、29000ポイント台では利益確定売りも

香港市場は上値の重い展開が見込まれる。世界的な景気減速懸念や米中の通商問題など不安材料がくすぶる中、ハンセン指数が29000ポイントを上回る水準では高値警戒感が意識されやすい。資産縮小の停止方針が示されている米FOMCは支援材料になる公算が大きい。21日に予定されているテンセントの決算には注意が必要となりそうだ。本土市場も上値の重い展開か。市場では強気派が勢いを増しているが、短期的な過熱感が強まっている。当局も市場への監視を強化しており、利益確定売りが広がる可能性もある。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 万洲国際(00288)	7.80	9.70
2 ファイナ・コム(00762)	9.94	8.63
3 CNOOC(00883)	14.16	6.63
4 中国平安保険(02318)	86.25	6.61
5 碧桂園(02007)	11.30	6.40
6 ファイナ・モバイル(00941)	85.95	5.78
7 中国生物製薬(01177)	6.87	4.73
8 華潤置地(01109)	31.20	4.70
9 AIAグループ(01299)	78.50	4.67
10 長江実業地産(01113)	65.75	4.61

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技(02018)	45.50	-4.41
2 吉利汽車(00175)	13.82	-2.12
3 信和置業(00083)	14.28	-1.65
4 九龍倉置業地産(01997)	57.20	-1.63
5 創科実業(00669)	50.75	-1.46
6 Link REIT(00823)	86.65	-1.03
7 新鴻基地産(00016)	129.30	-0.23
8 中国中信(00267)	11.78	-0.17
9 恒隆地産(00101)	19.04	0.00
10 中電控股(00002)	91.15	0.22

▼今週の主なイベント

- 3月19日(火)
- 【香港】失業率(12-2月)
- 【米国】FOMC(~20日)

▼今週の期待材料

- ◆李克強首相が預金準備率や利下げの可能性に言及、金融緩和期待の継続が相場の支援材料に
- ◆A株企業の18年本決算が好調、18日にまでに発表した247社の純利益は合計で25%増加
- ◆19-20日に米FOMC開催、資産縮小の停止時期に関する言及があればリスクオンの動きが強まる可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆本土市場で短期的な相場の過熱感強まる、中国当局は不正な資金の流れなど市場の監視を強化
- ◆李克強首相が「(中国経済が)新たな下押し圧力に直面している」と発言、景気の先行きに警戒感くすぶる公算
- ◆21日にテンセントが18年12月本決算を発表、市場予想を下回る内容なら相場の下押し要因に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 吉利汽車(00175): 21日に18年本決算を発表、市場予想は17%増益
- ☆ 中国東方航空(00670): 2月の旅客数が11%増加、伸び率は2桁増を維持
- ☆ ペトロチャイナ(00857): 21日に18年本決算を発表、市場予想は純利益2.4倍
- ☆ 安徽コンチセメント(00914): 21日に18年本決算を発表、市場予想は87%増益
- ☆ 中国太平保険(00966) 1-2月の保険料収入が8%増加、2月は4%増と堅調
- ☆ 中国平安保険(02318): 1-2月の保険料収入が7%増加、2月は5%増と堅調
- ◇ テンセント(00700): 21日に決算発表、市場予想は11%増益と成長鈍化の見通し
- ★ 中国高速伝動(00658): 18年本決算はコスト増が響き純利益半減の見通し
- ★ 中国人民財産保険(02328): 22日に18年本決算を発表、市場予想は19%減益
- ★ 舜宇光学科技(02382): 19日に18年本決算を発表、市場予想は11%減益と苦戦

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。